

宇美町

エコトコ

(2019年広報9月号)

今月号は、プラスチック製品についてのお話です。プラスチック素材は軽く丈夫で安価であることから、世界中で大量に生産・消費・廃棄されています。レジ袋に関して、日本では1年間に450億枚が出荷されているそうです。日本の人口が1.27億人(2017年時点)とすると、1人当たり1年間に約350枚も使っている計算になります。国連の調査によりますと、プラスチック製品全体では、日本人1人当たり年間32kg廃棄しており、この量は世界で第2位だそうです。リサイクルの優等生とされているペットボトルは、日本では年間約200億本出荷されており、リサイクル回収率は90%と優秀なようですが、それでも10%に当たる20億本が全量海に流れていくことはありませんが、その多くはごみとして捨てられており、最終処理で燃やされ、石油由来のためCO₂の排出量を増やす結果になっています。

あるホームセンターでの出来事です。私はマイバッグを忘れてしまったので、買ったものを両手に抱えて車に戻っていると、同じように買ったものを両手に抱えたご夫婦が店から出てきました。すると、「3円ケチって不便な思いしてから!」と奥方がご主人に文句を言っているのです。このホームセ

ンターでは地球環境保全のために、レジ袋を有料にしたとのことで、エコバッグの持参を呼びかけていました。その思いが『不便だから』という理由で伝わっていないのは残念に思います。

近年、世界のごみ問題の一つに、海中に漂う廃棄されたプラスチックごみがあります。経年劣化・紫外線などで小さい粒となったプラスチックに海中の有害な化学物質が付着し、それを魚が食べ、その魚を人間が食べて化学物質も取り込んでしまうという悪性の食物連鎖が懸念されています。「このままのペースであれば、あと30年したら海中の魚よりごみの量の方が多くなる」と世界中の研究者たちの間で問題になっていきます。フランス中部のプラスチックバレーと呼ばれる地方に住んでいる人が「プラスチックが悪いのではない!プラスチックを使う人間に問題があるのだ!」と言っていました。その通り!!

さて、話は変わりますが、今年も1月17日(日)にふみの里まなびの森フェスタで、環境課の職員と合同でパネルクイズを行う予定です。景品を用意して皆さんをお待ちしていますので、ぜひ遊びにきてください。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆

